

4 京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 「京(みやこ)あんしんこども館」を知っていますか？



- ◆京都市が8年前に梅屋小学校跡地に子どもの安心・安全を守るために作った施設です。
- ◆子どもの病気や育児の不安の相談にベテラン小児科医・保健師・看護師が対応します。
- ◆子ども達に発生しやすい事故の調査と事故を減らすために予防対策を考えています。
- ◆9年間の来館者：23,684名（個人13,130名・団体10,554名）
- ◆9年間の保健医療相談：10,109件（電話相談8,677件）



◆◆◆◆◆事故のアンケート調査にご協力いただきありがとうございました◆◆◆◆◆

今回の情報 誤飲（平成17年～22年）

- 1位 紙や包装紙の切れ端
（ポリ・ビニール・シール等の袋）
- 2位 医薬品
- 3位 玩具
- 4位 文具
- 5位 アクセサリー
- 以下 化粧品・ボタン電池・タバコ・コイン・殺虫剤等



1歳前後の乳幼児は手に触れたもので口に入る大きさなら何でも口に入れます。一般的に子どもの誤飲で一番多いのはこれまでタバコと報告されていましたが、当センターの電話相談では、紙やお菓子の包み紙などポリ・ビニール製のものやセロファン製の切れ端や各種のシールなどです。誤飲して胃の中に入った物は便に出てきますが、気道に入ると窒息などの呼吸障害を起こし危険です。

特に幼若な赤ちゃんは、つばでべたべたの手を伸ばした時に、ベッドの横に置いてあるティッシュペーパーに触れたら、手について口の中へどンドン吸い込み窒息したという報告もありました。当センターでも同じような相談もありましたが、早く気付いたので大事に至りませんでした。これは怖いことです。

胃の中に入れば、必ず便と一緒に出ますが、大人の錠剤などには危険なものがあります。管理をきちんとして危険なものを近くに置かず、鍵のついた箱に保管してください。これらのものが気道に入った誤嚥はもっと危険です。呼吸困難でゼイゼイ、ヒーヒーいっているときは緊急対応が必要です。

ワンポイント

整理整頓と特に居間の掃除はキチンとしてください。危険な物は手の届かない場所においてください。引き出しの取っ手に上ると意外な所にも手が届きます。収納した箱には鍵をつけておいてください。

何をしているの？

- *来館者にはセーフティハウスの見学と家庭内事故防止について説明しています。
- *団体来館者には見学と小児科医による「子育て不安」、「児童虐待」「家庭内事故」等の話をしています。
- *講習会ではお子さんの「心肺蘇生法講習会」、「チャイルドシート装着、幼児2人同乗用自転車の講習会」もしています。
- *子どもの事故防止実践・応急手当マニュアルを進呈します（無料）。

場所は？

中京区釜座通丸太町上る梅屋町
（第二赤十字病院南隣）
TEL 代表 075-231-8002
相談 075-231-8005
FAX 075-231-8003
<http://www.anshinkodomokan.jp>